

## 会務報告

### 第12回 (1993年度) 研究発表会および総会

第12回研究発表会ならびに総会が、1993年5月29日(土)午後2時30分より、湘南工科大学付属高等学校で開催された。総会では、事業計画案・予算案の審議や研究会等のお知らせを行った。その後、研究発表10題と活発な質疑応答があり、盛会であった。

研究発表後、恒例の懇親会が同校内で催され、多くの参加者を得て有意義な情報交換が行われた。

本研究会は、会員相互に支えられた勉強の場である。日頃の研究成果などを互いに提供し合い、より一層の向上を図るためにも、多くの方々の積極的な参加が望まれる。

研究発表会(発表12分、質疑3分)

- 15:00~15:45 座長 遠藤将光
- (1) ツメガエル(幼生)の飼育と教材化  
渡辺克己 (県立教育センター)
  - (2) 菌類(キノコ)の教材化—市販キノコを材料として  
石橋 篤 (県立岡津高等学校)
  - (3) 進化教材としての耳の解剖  
池田博明 (県立青少年センター)
- 15:45~16:30 座長 馬淵智生
- (4) 三浦半島のゾウムシ(昆虫類甲虫目)について  
石渡裕之 (横浜市立小山台中学校)
  - (5) 砂のすき間の動物の分離法について  
峯岸秀雄 (日本女子大学付属高等学校)
  - (6) 授業時間内でできるツバメ類の観察調査  
苗川博史 (湘南工科大学附属高等学校)
- 16:30~17:30 座長 和田 仁
- (7) 稲の切り株を用いた微小生物の観察  
矢野雄一 (県立生田高等学校)
  - (8) 西丹沢における水生動物調査  
斉藤隆政 (県立平塚江南高等学校)
  - (9) 校庭の植物群落  
藤崎洋子 (神奈川学園高等学校)
  - (10) オーストラリア海外研修報告  
難波純治 (県立神田高等学校)

## 研究会報告

本年度も3回の研究会を実施した。第1回は6月20日(日)葉山芝崎海岸にて加藤琢矛氏、池田 等氏を講師に「磯の生物の観察」(生物標本作成と葉山しおさい博物館見学)を行った。第2回は11月20日(土)県立七里ヶ浜高等学校にて森屋 一氏を講師に「有孔虫の教材化」を行った。海藻、磯の堆積物などから有孔虫を取り出し、双眼実体顕微鏡で観察した。第3回は2月5日(土)県立逗子高等学校にて築瀬公成氏を講師に「新しい試薬を利用した脱水素酵素の実験について」を行った。DCIP、PMSを用いて行う方法である。ツンベルグ管やアスピレーターを使わずに、試験管だけを用いて行える等、すぐれた方法であった。

3回の研究会とも大変興味深いものであった。以下にその概要を紹介する。